

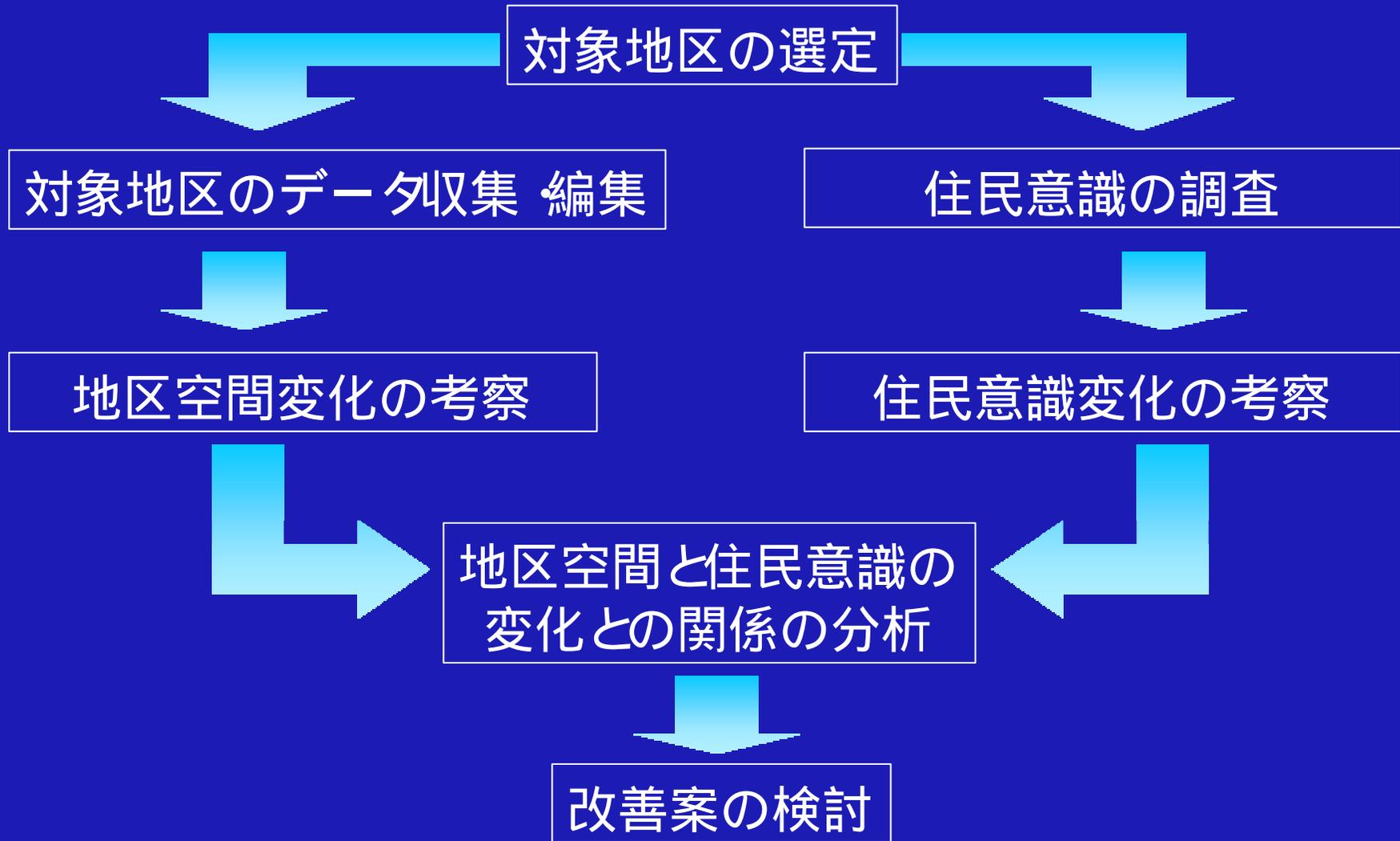
土地区画整理事業における地区空間と住民意識の変化に関する研究

背景と目的

区画整理事業が新市街地整備から既成市街地の再構築へ重点を転換していくなかで、これまでの整備の評価を行う必要がある。

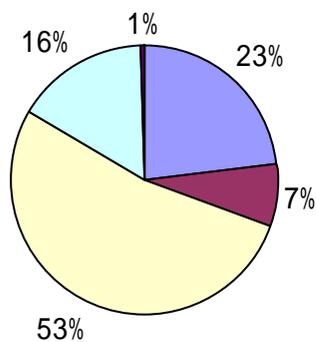
本研究では、**施工前後の変化**を、地区空間と住民意識の変化から分析し**どのような計画が望まれるのか**を考察する。

研究の流れ



地区空間変化

坂ノ市地区道路形状 (施行前)



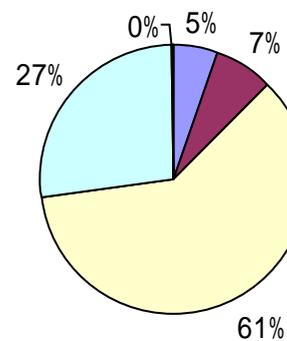
現在

施行前

施行前

坂ノ市地区

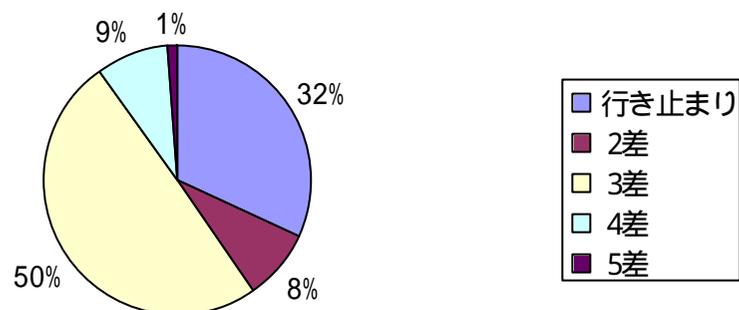
坂ノ市地区道路形状 (現在)



現在

地区空間変化

下郡地区道路形状 (施行前)



現在

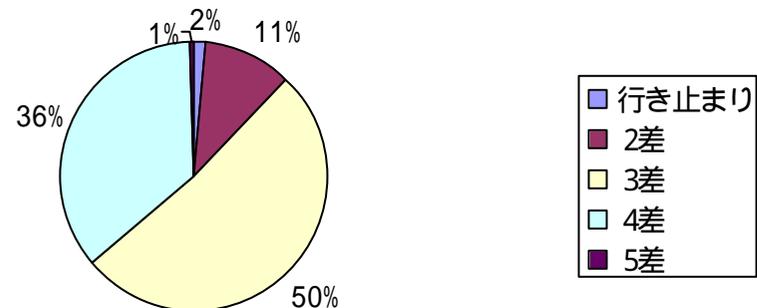


道路網が迂余曲折した複雑なものから機能的なものへ
学校、公園等の公益的施設の均等な配置



施行前

下郡地区



住民意識の変化

住民意識調査の概要

坂ノ市・下郡両地区で次のような調査を行った。

アンケート調査

- ・施行前と現在の都市基盤整備状況（道路状況等）
- ・住環境の変化（敷地変化等）
- ・地域集団活動の変化（話し合いのなどの参加状況等）

回収率：坂ノ市地区	93.9% (154/164)
下郡地区	85.7% (48/56)

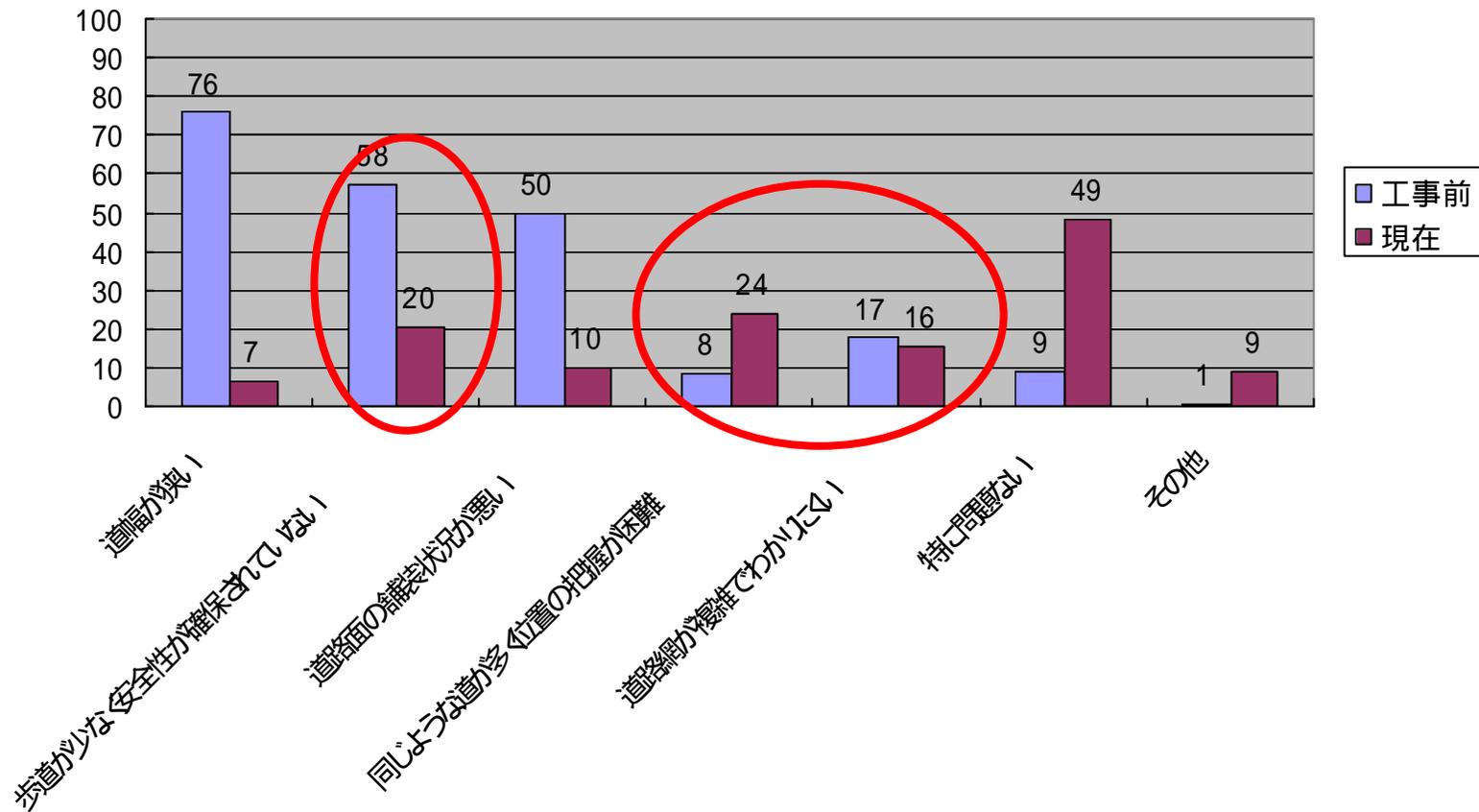
ヒアリング

- ・話し合いの場、立ち話の場、子供の遊び場の変化
(地図へ書き込み)

住民意識の変化

単位：人

道路状況 (坂ノ市)



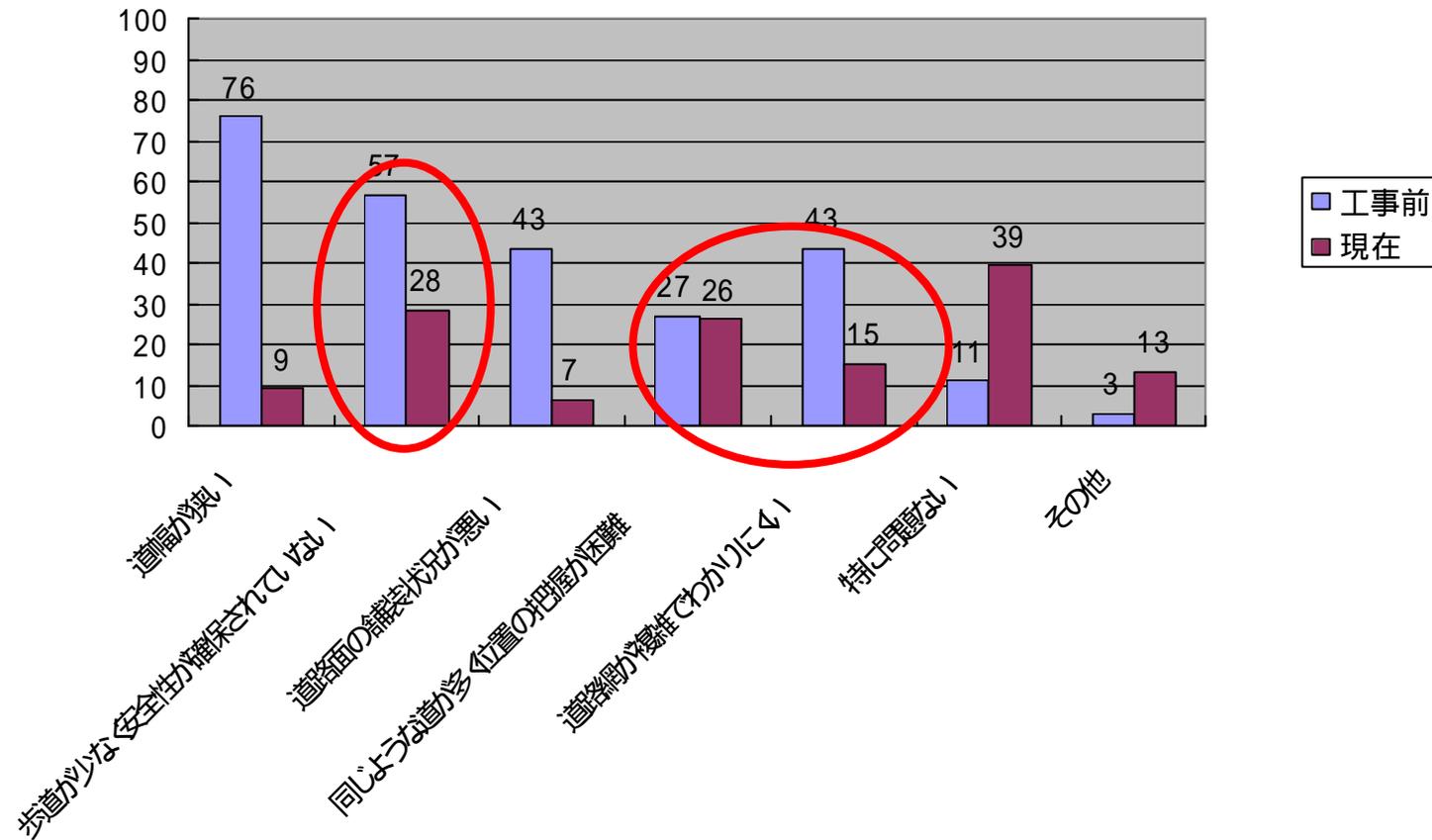
住民意識の変化

歩道の整備への不満

道路網の複雑さ、わかりにくさへの不満

単位：人

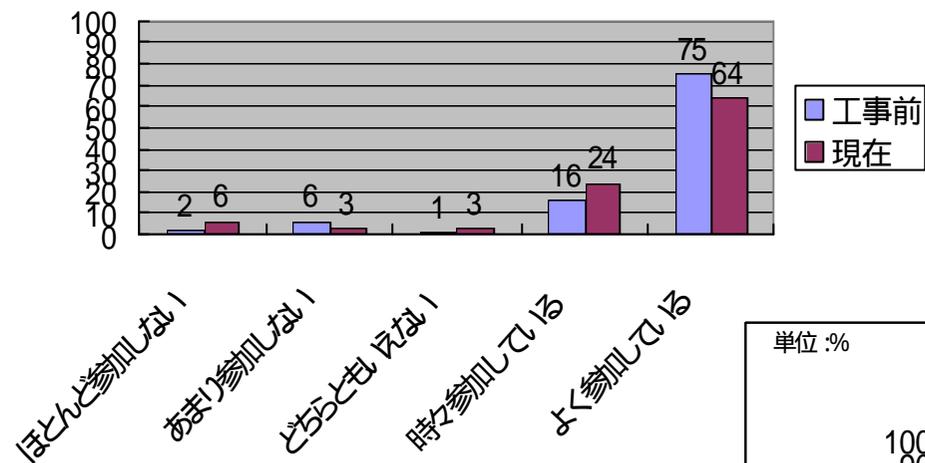
道路状況（下郡）



住民意識の変化

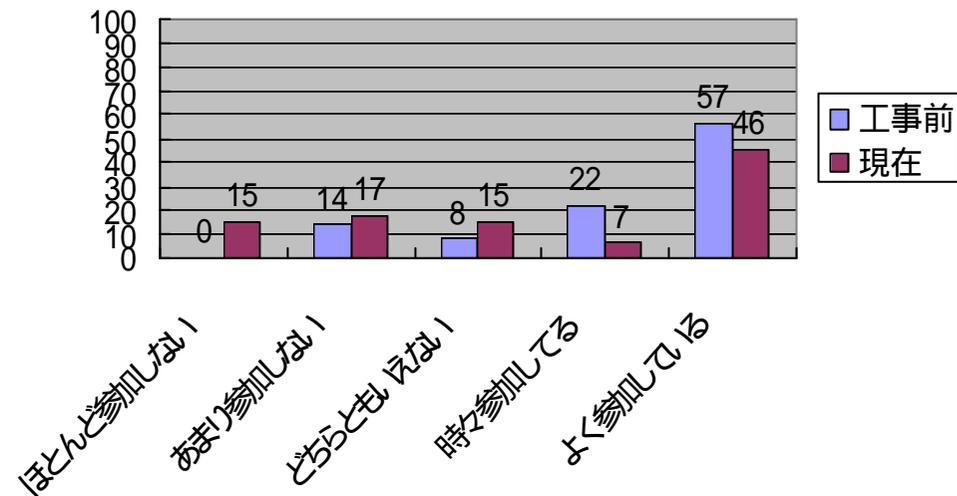
単位：%

地区行事参加状況 (坂ノ市)



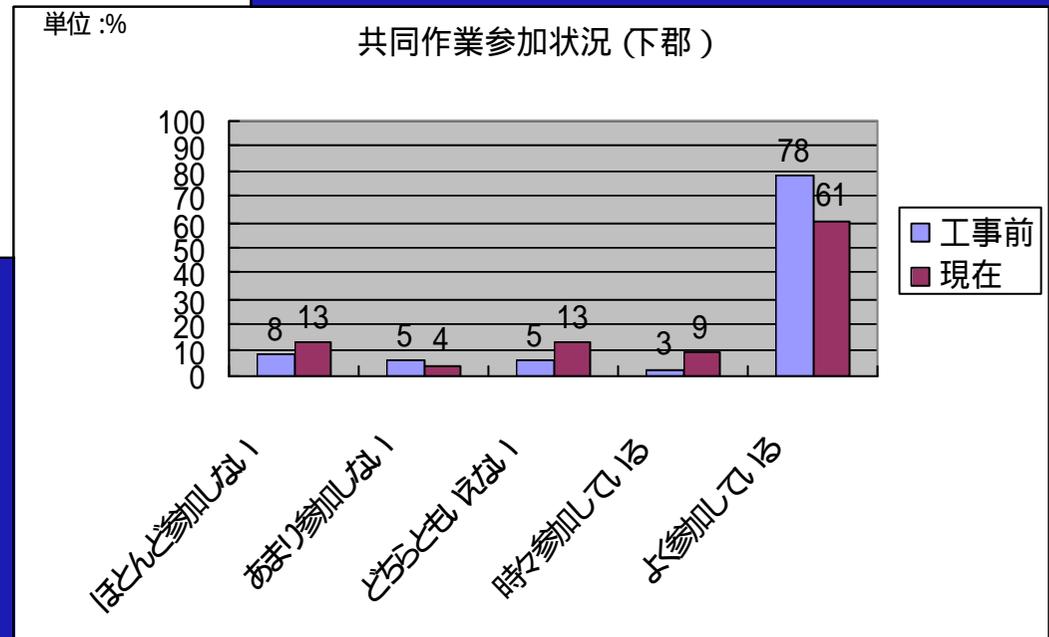
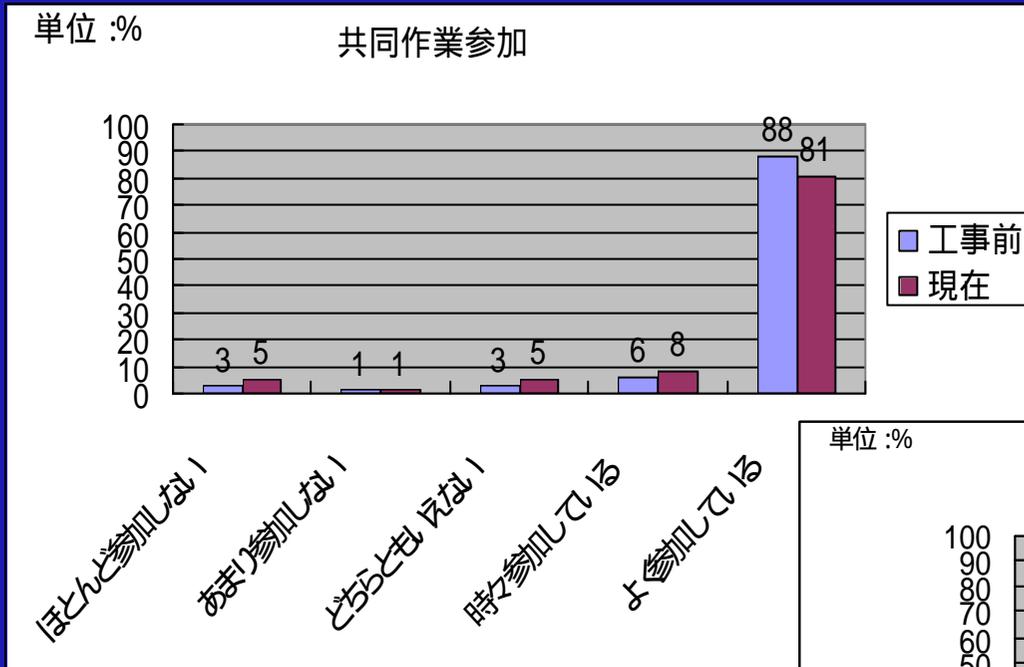
単位：%

地区行事参加状況 (下郡)



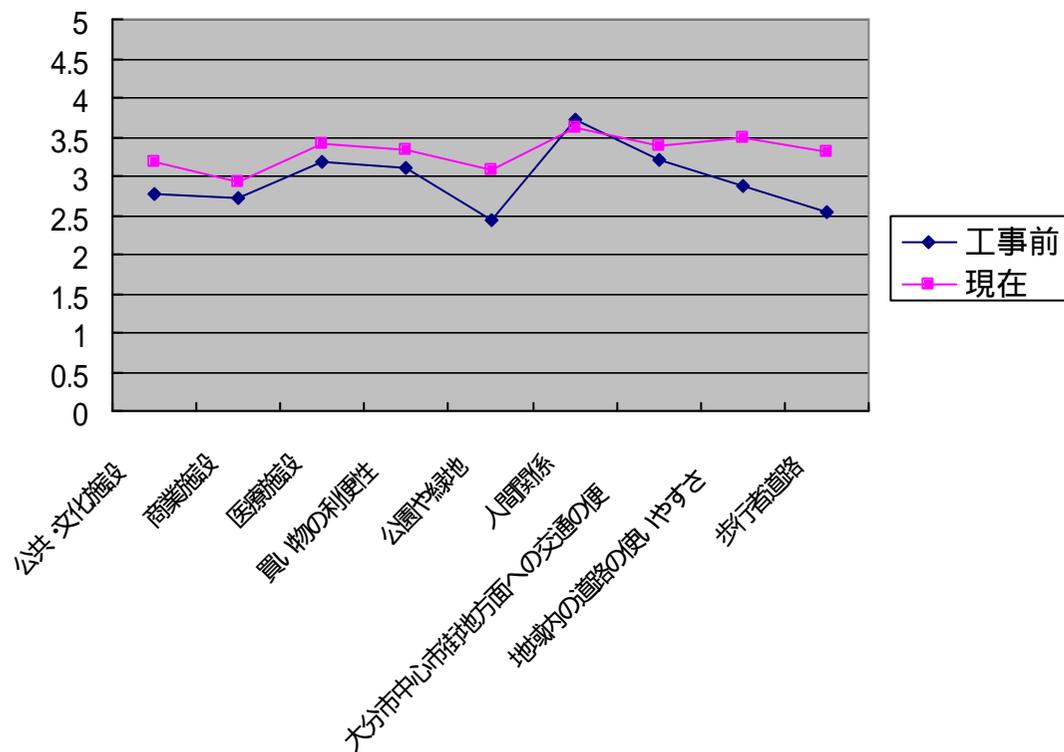
住民意識の変化

地域集団活動への積極的参加の減少



住民意識の変化

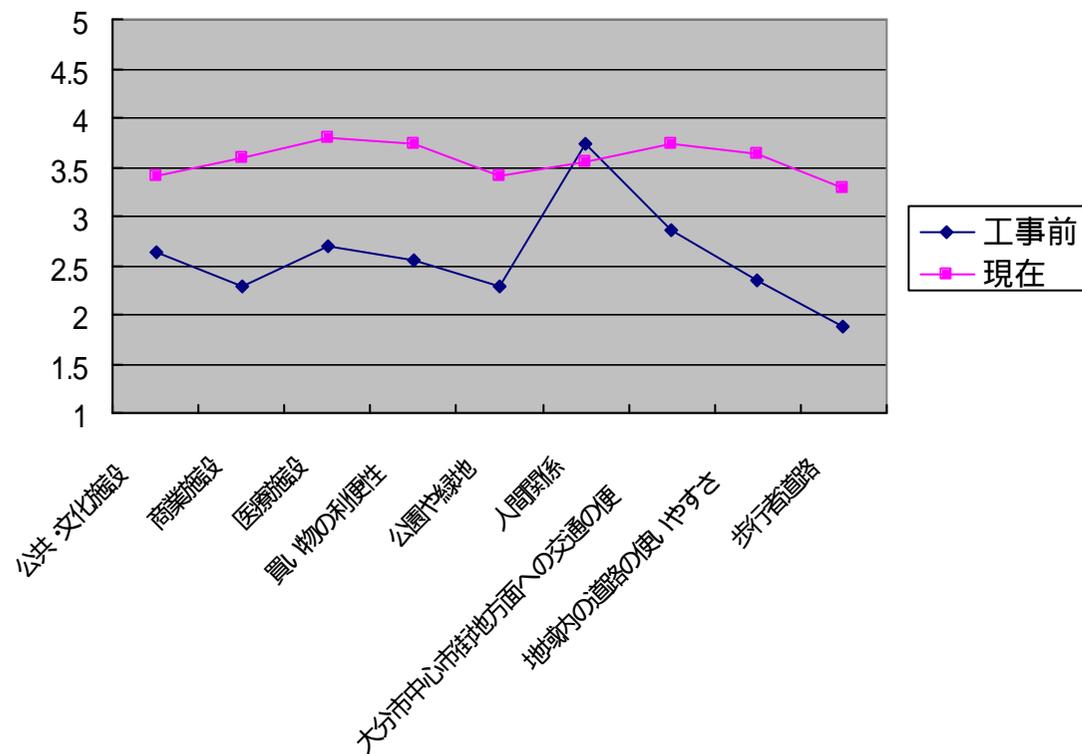
生活環境の満足度 (坂ノ市)



住民意識の変化

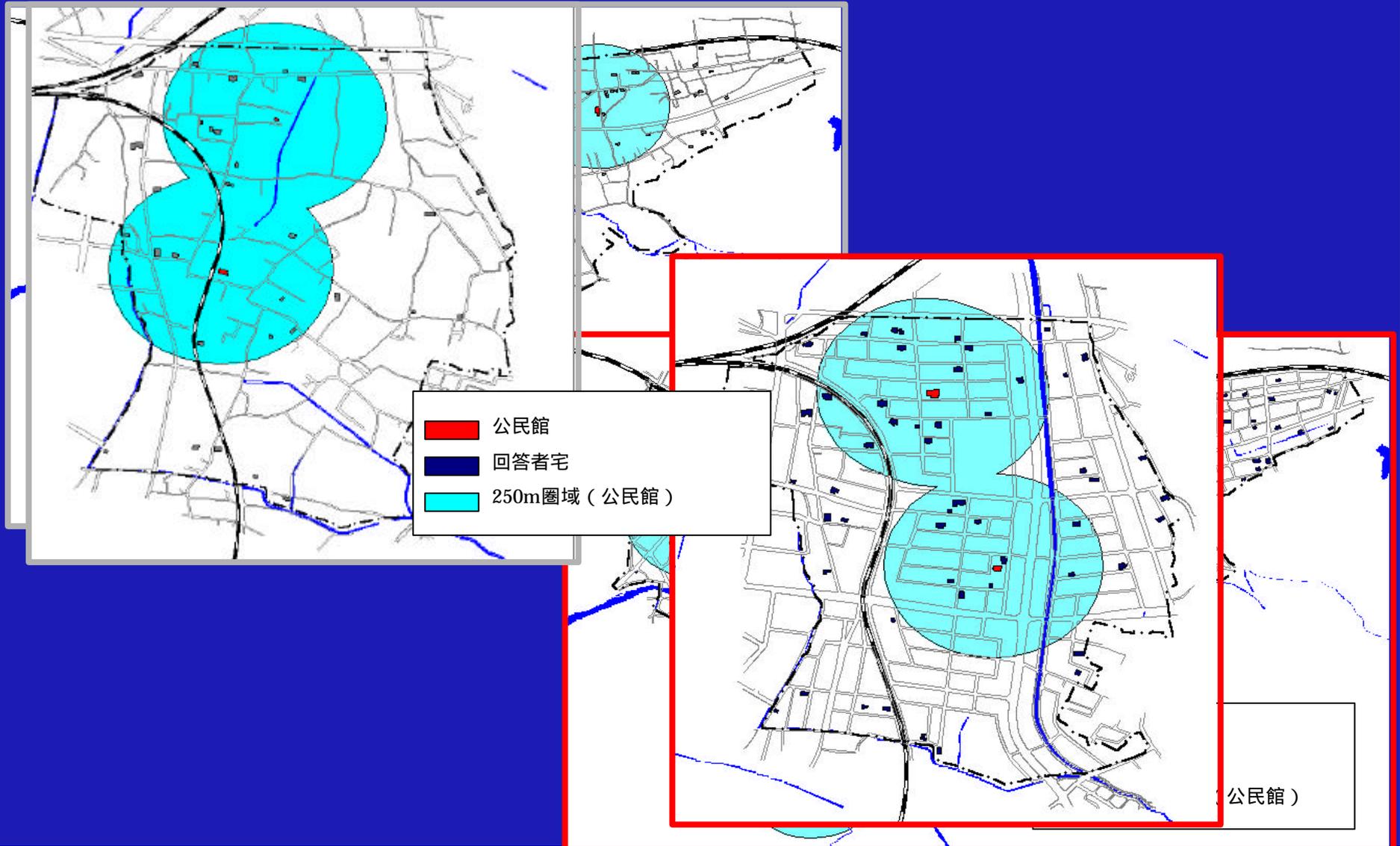
生活環境の改善

生活環境の評価（下郡）



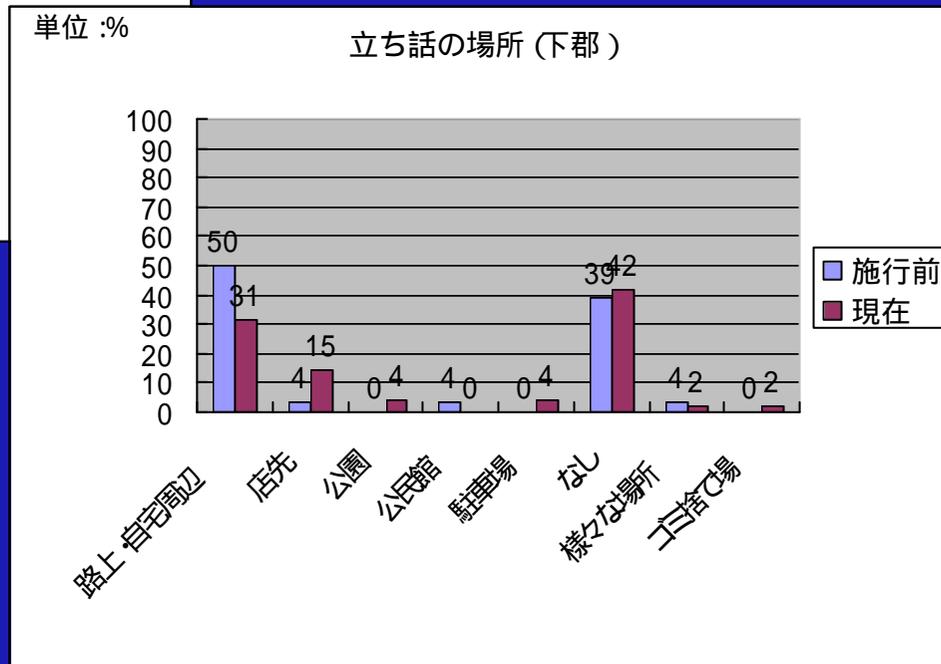
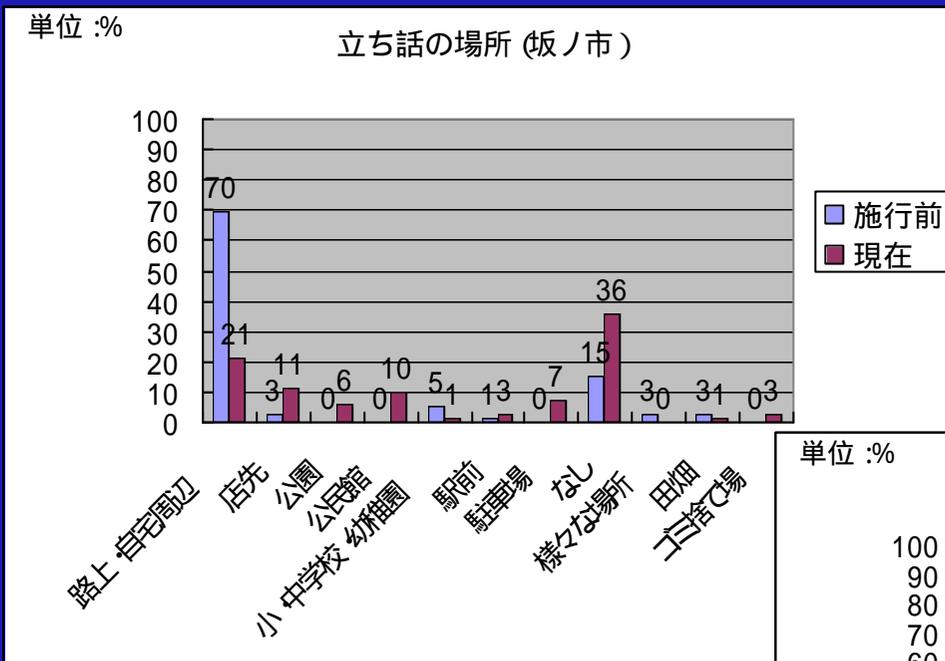
コミュニティ形成の場

坂ノ市では公民館利用率の増加



コミュニティ形成の場

自宅周辺での立ち話の機会の減少

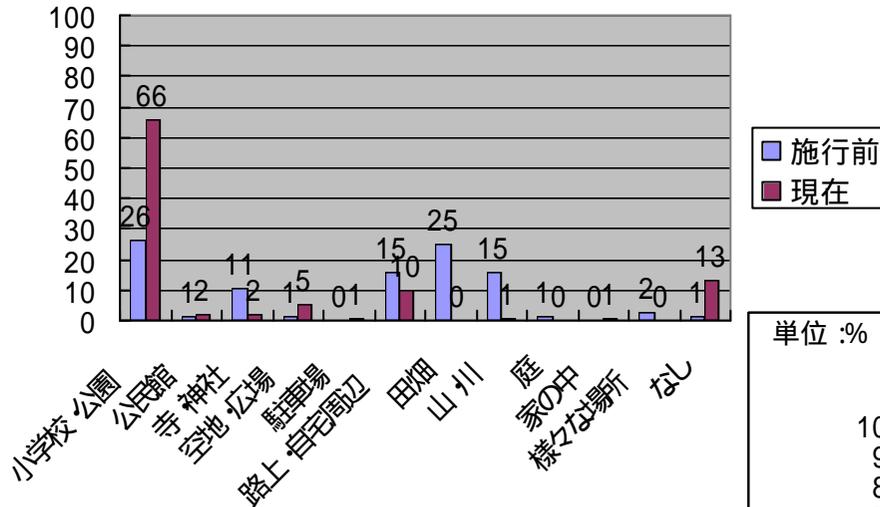


コミュニティ形成の場

学校、公園の割合の増加

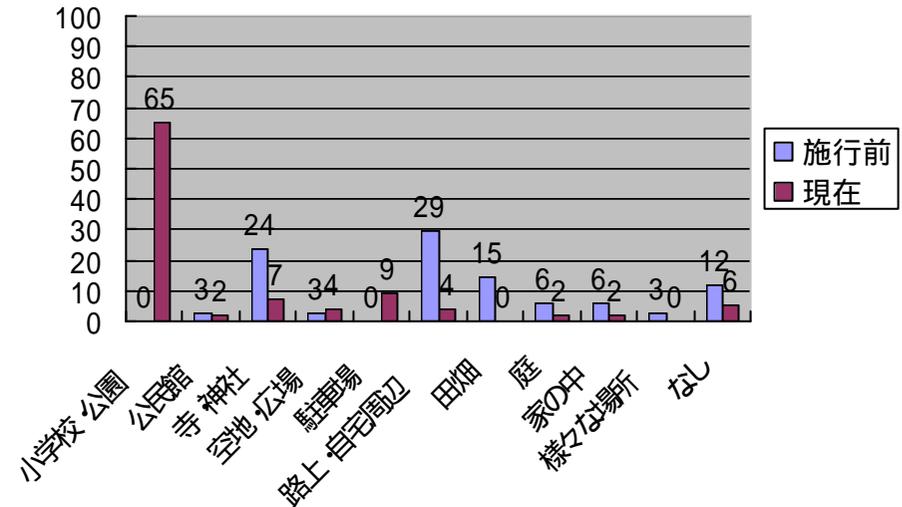
単位 :%

遊び場 (板ノ市)



単位 :%

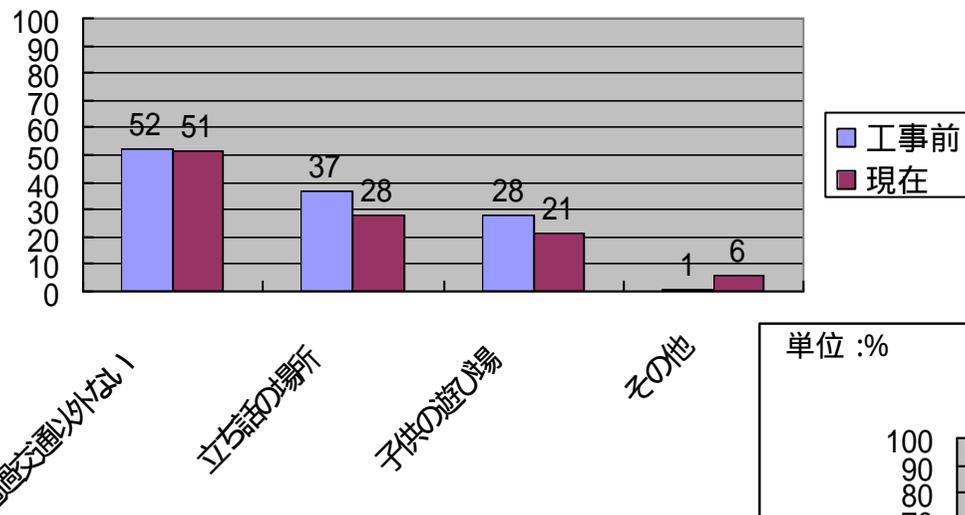
遊び場 (下郡)



コミュニティ形成の場

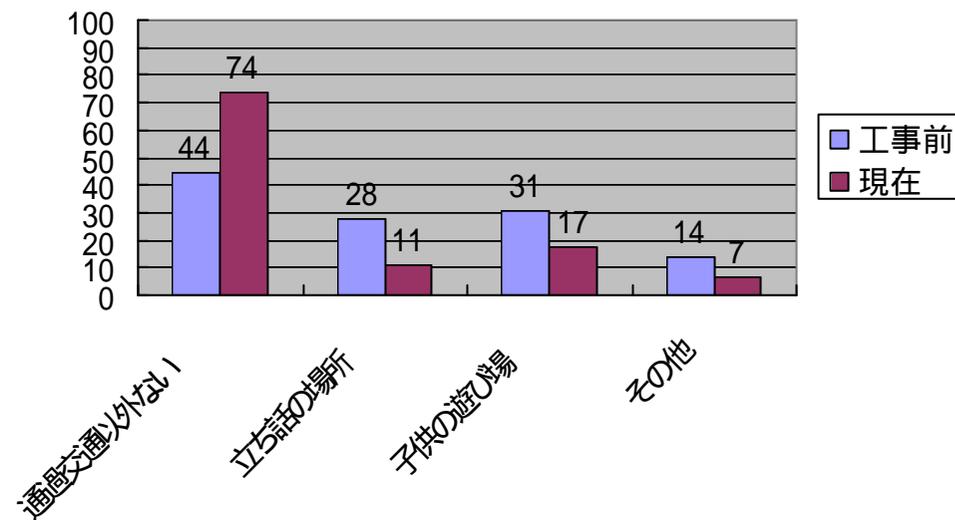
単位 :%

周辺道路の使われ方 (板ノ市)



単位 :%

周辺道路の使われ方 (下郡)



コミュニティ形成の場

・施行前

コミュニティ形成の場が自宅周辺など非常に身近な場であった。

・現在

話し合い・・・公民館

立ち話・・・店先など出かけた場

遊び場・・・公園・小学校

地区空間と住民意識の変化

施設

- ・ 施設の新設
- ・ 均等な配置



- ・ 合理的施設利用
- ・ 住環境の評価の向上
- ・ 公園の機能的問題

道路網

- ・ 機能的道路に改善
- ・ 直線的で均質な道路空間



- ・ 歩行者の安全性の問題
- ・ 道路網のわかりにくさの指摘

地域コミュニティ

- ・ 道路網の変化
- ・ 施設の充実



- ・ 安全性の問題、空間変化から身近な場所での自発的コミュニティ形成の場の減少

総括

改善点

- ・より明確な道路網の整備
- ・系統的な歩行者専用道路の整備による歩行者の安全性の確保
- ・公園の機能面の見直し
- ・自発的コミュニティ形成の場の創造

今後の課題

具体的改善案を提案するため

- ・更に多くの地区の分析
- ・土地区画整理以外の市街地整備手法との比較